

ニ名トス、相傳ル俚歌ニ「麻ノ坂ニ麻マキンメテウミンメテ磯ニヘサセテ浪ニオラセン、と云り、連胤 按るに、上に倭文神社のあるも此ゆゑにやわらん、

神位

國內神階記云、正四位上長瀬の明神、瀬に旗の旗

久豆彌神社

久豆彌は假字也○祭神詳ならず○久寢郷岡村に在す、今賀茂郡に屬す、國圖、

伊豆志に、元祿十年ノ棟札ニ、葛見大社岡村稻荷云々、と云り、

石徳高神社

石徳高は伊波登古と訓べし○祭神詳ならず○徳永村に在す、今那賀郡に屬す、國例祭

考證に、按徳高言ニ泉盛沸、今熱海温泉良隅湯前權現是乎と云り、○元亨釋書云、桓舜

竇、冥遊豆州、説ニ法温泉神祠、

伊加麻志神社

伊加麻志は假字也○祭神在所等詳ならず

廣瀬神社

廣瀬は比呂勢と訓べし○祭神倉稻魂命、或○小濱に在す、今辨財天と稱す、志三島社攝社也、

例祭 伊豆志に、廣瀬は小濱池傍の地名也と云り、○或説に、第四宮ト云フ、舊事紀、素戔嗚尊娶ニ

泉水一本泉  
の一字に本  
作

大山祇女神大市姫生ニ神、大年神、次倉稻魂命、コレ大山祇神ノ外孫也と云り、

類社

武藏國入間郡廣瀬神社

神位

國內神階記云、從一位廣瀬明神、

小河泉水神社

小河は平賀波と訓べし、和名鈔、郡名小河、泉水は伊豆美と訓べし○祭神詳ならず○小河郷

田代村に在す、國例祭 月 日、

伊豆志に、今駿河國駿東郡湯川村ニアリ、熊野權現ト稱ス、此地古ハ伊豆ノ地也、と云り、

連胤 按るに、昔駿河國へ伊豆の地の入込たる事は、下なる玉作の郷の、和名鈔に、駿河國駿

河郡玉作とあるにても著しけれど、當社の小河の稱は、和名鈔當郡に見ゆれば、當社を今

駿東郡に在すといふはいかゝわらん、

神位

國內神階記云、從四位上小河泉明神、

大朝神社

大朝は於保阿左と訓べし○祭神大日靈尊、志○駿河國駿東郡香貫村に在す、今山宮、又潮留

明神と稱す、國例祭 月 日、